

鑄物工場の廃棄物から骨材

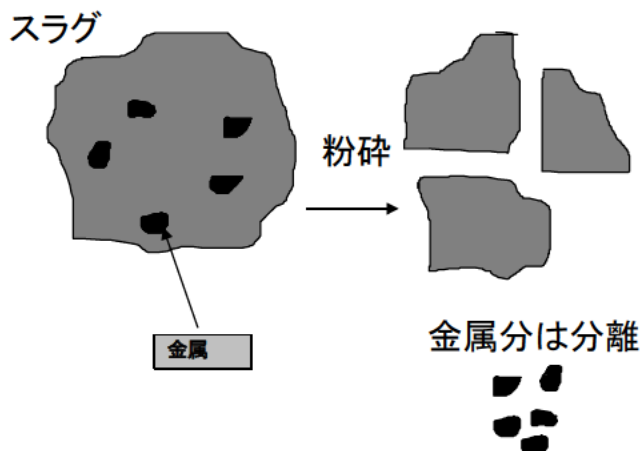
鑄物工場の産業廃棄物

鑄物工場では、1トンの鑄物を作るのに約0.3トンの廃棄物が発生します。発生する廃棄物は、スラグ(主として金属の酸化物)などで、この廃棄物を如何に有効利用するかが、大きな課題となっています。

※:スラグは主に石灰石、コークスや炉壁から出てくるシリカや酸化カルシウムです。

スラグから骨材(砂利、砂)を製造

スラグは、道路作るとき、あるいはコンクリートを製造する際に、利用される骨材(砂利、砂)に性質が似ています。そこで、スラグを粉砕して形を整え、中に含まれている不要な金属を除去して、骨材として利用します。



スラグを従来の骨材(砂)の代わりに利用して製造したコンクリートは、強さなどの性能は従来のコンクリートとほぼ同じです。



スラグを利用して製造した路盤材は、一般的に利用されている骨材(砂利)と同等の性能を発揮します。

⇒ スラグを有効利用することにより、
埋め立て処分される廃棄物削減が可能